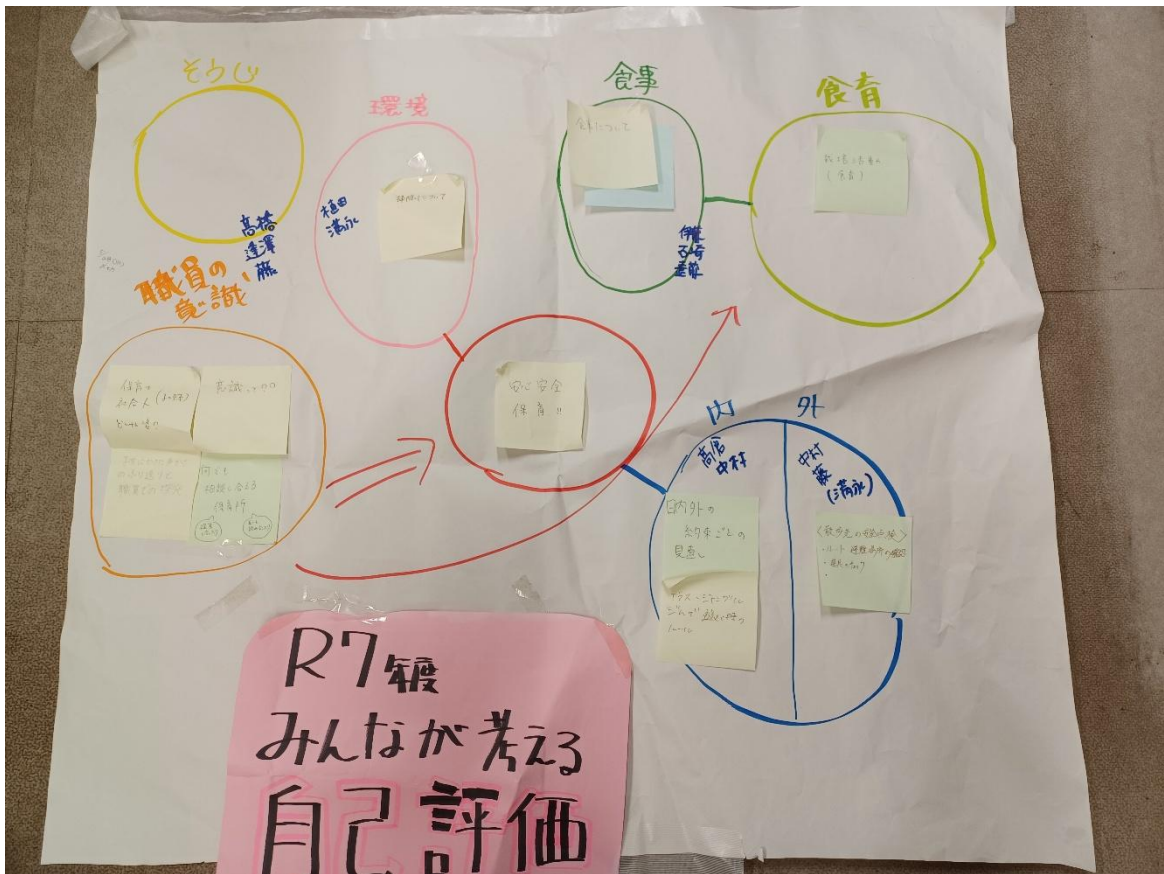


2026年3月18日

入船の森保育園園長 石井千枝子

2025年（令和7年度） 入船の森保育園自己評価

昨年度の振り返りから、職員一人ひとりが「今、職員が取り組むべき事案は何か」を付箋に記載し、KJ法で図式化してみました。職員が作り上げた図の中心は、『安全・安心保育』。その『安全・安心保育』を今年度のテーマとし、そこから枝分かれした項目（食育・環境等）の担当を決めて、その分野の『安全・安心保育』に取り組むことになりました。R7年度は、各担当者の進行情報を定期的に会議で伝え、全職員で共有・検証し、図の中心である全ての『安全・安心保育』に繋がることを目指していきます。



【取り組み】

『食育』～食事のマナーについて～

- ・各職員の認識が違う「食事マナーについて」「おかわりについて」「疑問に思っている事」についてアンケートをとり、担当チームがまとめました。自園は、多国籍の子が複数いるため、来年度も継続する課題です。

『保育園内環境（戸外）』～入船小校庭を使用する時のルール～

- ・入船小学校の校庭をお借りして遊んでいます。広大である事と小学生用の遊具・設計であるため、安全に繋がる具体的な対策を確認し職員間で共有しました。しかし、課題が多いため、来年度も継続します。

『保育園内環境（園外）』～散歩のルール～

- ・散歩カードの見直しと散歩先の広域避難場所の行き方ルートを作ることとする。また、散歩先の遊具の適応年齢の確認もすすめており、来年度も継続していきます。

『保育園室内環境』～整理整頓～

- ・各クラスにある玩具や遊具の洗い出しを各担任が行い、数や種類のチェックをし、適正な数や必要な玩具や遊具をみんなで確認しました。パズルの収納の仕方を子どもが収納しやすい形状にかえました。見直す事案があるため、来年度も引き続き、継続していきます。

『掃除』～共有廊下の掃除の仕方～

- ・自園は、賃借している小学校校舎内にあり、小学生と一緒に利用する共有廊下の掃除への課題を感じる職員が多いことを鑑みて、共有廊下の掃除にスポットをあて、アンケートをとり話し合いを重ね、掃除マニュアルを作成しました。これから掃除道具等を揃え、来年度実施検証をしていく予定です。

【振り返り】

2・3人のチームで1年間取り組んできました。自分たちから出た課題点への取組なので、意欲的にアイデアを出して、話し合う姿がみられました。手法はそれぞれのチームで進めていきましたが、まずは一人ひとりの職員の意見を集めるためにアンケートをとるチームや、リストを作るために職員に協力を呼び掛けるチーム等、担当者だけですすめていくのではなく、園全体で問題に取り組んでいこうとする姿がありました。振り返りの時に、「来年も今年の課題への取り組みを継続や検証していきたい」と意見が一致し、来年度も自己評価のテーマは『安全・安心』になりました。今年は正規職員のみで担当し、非正規職員に進行状況を伝えていましたが、入船の森保育園の自己評価の土台が今年度構築できたので、来年度から、非正規職員もチームに入り、全職員で進めていきたいと考えています。